

Canna-Project カンナのパネル須坂市へ寄贈の報告会

【2017年8月6日 13時 広島市 原爆資料館】

報告書配布の上説明 カンナ・プロジェクト 橘 凛保
館長のお礼の言葉 志賀 賢治
次世代リーダー スピーチ 滋賀県リーダー 関 大翔



出席者	原爆資料館 館長	志賀 賢治
	副館長	諏訪 良彦
	被爆体験継承担当課長	中川 治昭
	広島市議会 議員	宮崎 誠克 (カンナ大使)
	広島市議会 議員	木戸 つねやす (カンナ大使)
	広島市議会 議員	山路 英男 (カンナ大使)
	カンナ・プロジェクト代表	橘 凛保 (カンナ大使)
	カンナ・プロジェクト理事	常國 清 (カンナ大使)
	次世代チーム滋賀県リーダー	関 大翔 (中学3年生)
	カンナ大使	関 鈴花
	カンナ大使	小林 豊治
	カンナ大使	堂野崎孝悌

爆心地に咲くカンナ須坂へ〜広島平和記念館の写真パネル譲渡

2017-07-08 07:00 am by 須坂新聞

お知らせ

須坂市はこのほど、広島平和記念資料館（広島県）に展示されていた、原爆投下から約1カ月後に広島市の爆心地近くで撮影されたカンナの花の写真パネルを譲り受けた。カンナの花の栽培を通して各地で平和を伝える「カンナ・プロジェクト」に取り組んでいる橘凛保（りほ）さん（東京都）を通じてのもの。同プロジェクトは、仁礼町で園芸店を営んだ故田辺雅夫さんが最初に球根を提供するなど須坂市とつながりが深い。市は近く、パネルをメッセナホールに展示して、平和学習などに役立てたいとしている。

写真は焼け野原に咲く1輪のカンナを写したもので、パネルは縦2.7m、横1.6m。「『75年間は草木も生えない』といわれた広島で新しい芽が息吹きました。焼け跡によみがえった緑に人々は生きる勇気と希望をとりもどしました」との説明が添えられている。

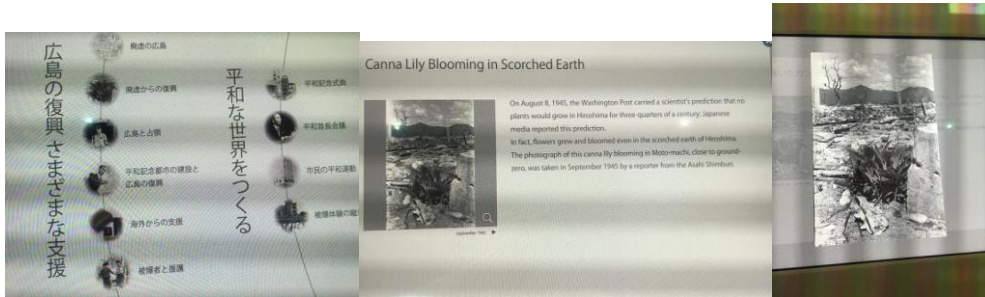
橘さんは2004年に同館を訪れて、カンナの写真を見たことをきっかけに同プロジェクトを始めることに。球根を探す中で田辺さんと出会い、無償提供を受けた。その後、活動が広がり、分けつけた球根が全国各地で使われた。須坂市でも賛同した市民らが植えて育てている。同館改修に伴い、パネルが撤去されることになり、橘さんが関係者に保存を働きかけた。パネルは大きく、自身では保管できないことから、引き受け手を探していたところ、知人の三木正夫市長が応じた。

橘さんは「多くの方の協力でパネルを残すことができた。なぜ爆心地にカンナが咲いたのか。写真を見た人が何かを感じ、思いを馳せて、平和を願う気持ちを持ち続けてもらえれば」と話した。

三木市長は「写真から戦争の悲惨さを学び、平和について考えてもらえるようにしたい」と話した。

2017-07-08 07:00 am by 須坂新聞 - 0 コメント

現在の原爆資料館東館 「焦土に咲いたカンナ」はデジタル化して残された



2018年本館リニューアルオープンまで無料スペースに小さいパネル展示
 その後はカンナ・プロジェクトに譲り渡される約束を席上で志賀館長と交わす



2017年8月20日埼玉県カンナ大使長野県須坂市メセナホールに見学に行く

この写真から始まった「カンナ・リレー」と「ゆるキャラかんなちゃん」
 写真中央 須坂に寄贈した日に咲いたカンナ



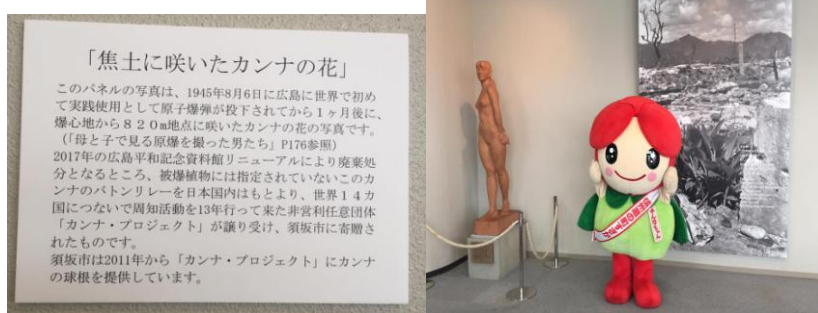
【2017年8月30日 13時長野県須坂市 メセナホール】

広島原爆資料館での報告会の報告の様子を含めた資料を配布の上説明
ゆるキャラかなちゃんとカンナのパネルの72年ぶりの再会式

同席者 まちづくり課課長 滝澤 健一
まちづくり課係長 寺澤
メセナホール局長 (写真のみ)

一足先に須坂の真っ赤な「カンナ街道」に降り立った「ゆるキャラかなちゃん」が
72年前の自分に再会するセレモニーを執り行いました

須坂の三木正夫市長の「もしどなたも引受先がなければ、須坂でほしいです」
のお言葉で決めた寄贈先＝長野県須坂市でした。来るべくして来たパネルでした。



カンナ・リレーは人の心を繋いでお互いがお互いに思いを馳せ合う「怨」のバトンです
世界中の人の心に平和と希望の花を咲かせましょう！ **カンナスマイル！**

Canna-Project since2004 ホームページ canna-project.com

2017年8月30日 文責カンナ・プロジェクト橋凜保